

クラウド型台帳システム

（管路・設備、SM・LCC、RT監視）

持続的な下水道事業運営には、更なる住民サービスの維持・向上と、災害時における早期復旧体制の構築が求められており、DXの推進による業務の効率化が効果的です。

『Blitz GROW』クラウド型上下水道施設設備台帳システム

Blitz GROW (ブリッツ・グロウ)は、

- 処理場・ポンプ場の施設・設備管理に特化したクラウドサービスです。
- 台帳の電子化、アセットマネジメント、ストックマネジメントなど、様々なシチュエーションに対応できます。
- 庁舎や処理場でPC端末での利用に留まらず、クラウド型システムの特徴を活かし現場へタブレット等のモバイル端末を持っていくことで、同じ機能を「いつでも」・「どこでも」利用できます。



『Blitz GIS』クラウド型上下水道管路台帳システム

Blitz GIS (ブリッツ・ジーアイエス)は、

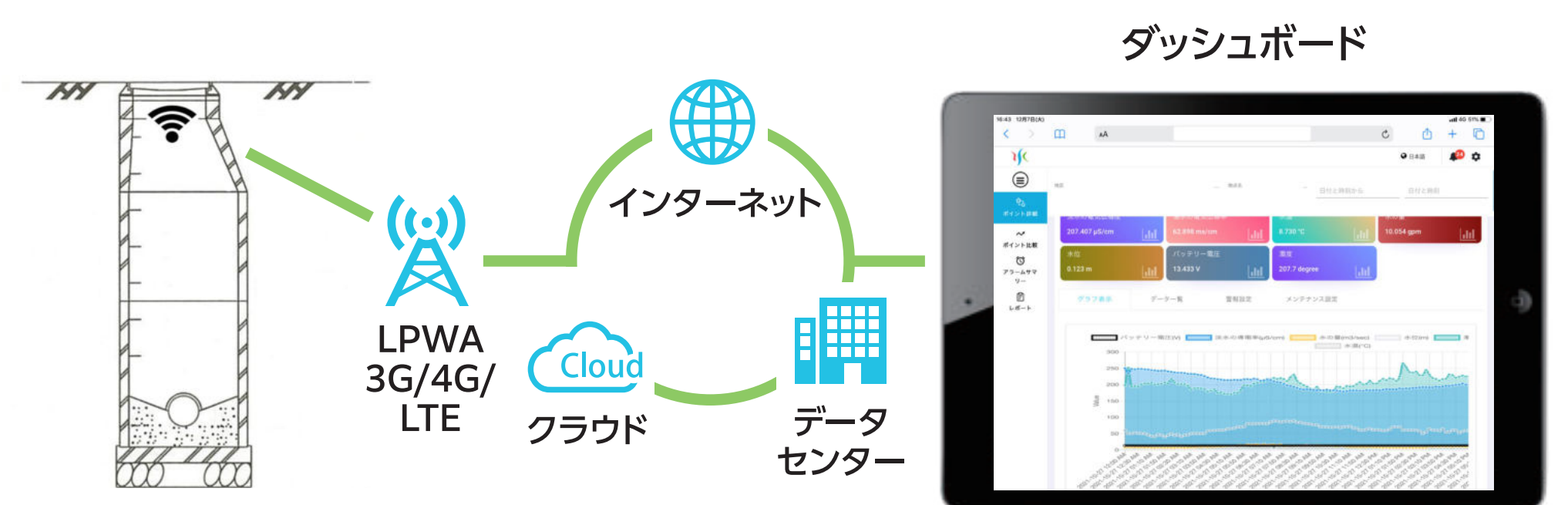
- 上下水道の管路管理を行えるクラウド式の管路台帳システムです。
- 維持管理情報を現場で記録、災害情報の記録もできます。
- 「下水道台帳管理システム標準仕様(案)導入の手引き」に準拠しています。
- 令和3年度「下水道管路情報の共通プラットフォーム構築に向けたモデル実証事業」にて9つの地方公共団体を実証のフィールドとして、本システムの導入効果を実証しました。



下水管路内のリアルタイム状態監視システム

リアルタイム状態監視システムは、

- 水位、流量、温度、水質を常時監視するシステムです。
- 管きょや処理場の制御・運転最適化などに利用できます。
- 非接触・リモート型の維持管理へ転換が可能です。
- 24時間365日監視し続けますので、稀に発生する現象を逃さず、必要に応じてアラートメールによる通知も可能です。
- クラウド型のモニタリングシステムであるため、タブレット等を携帯することで非常時においても活用できます。



まとめ

下水道事業では、維持管理・ストックマネジメントの重要性が高まっており、既存ストックの状況を“いつでも”、“どこでも”、“かんたん”に管理可能なクラウド型台帳システムが広く普及してきています。

クラウド型台帳システムのみでなく、リアルタイム状態監視システムを併せて導入することで、少ない人数で膨大な既存ストックの状況を効率的に管理することが可能となります。



“楽”な事業運営を
サポートします!